

早稲田のいぶき

安全安心分科会



牛込仲之小学校 交通安全教室



12月4日、榎地区協議会としては初めて牛込仲之小学校で交通安全教室を行い、1年生と2年生の112名が参加しました。最初に牛込警察署の婦警さんから、青信号になったら左右を確認して横断歩道を渡るなど交通安全についての基本的なことについてお話していただきました。(写真A)

それを踏まえうえで、アイコンタクトについて学びます。横断歩道を渡る時は、必ず運転手と目を合わせて、「渡りますよー」という意志を運転手に伝えるのがアイコンタクトです(写真B・D)。アイコンタクトをしないと写真Eのように

アイコンタクトと死角体験

車に気付かずに事故にあう可能性が高まります。次に、死角体験を行いました。トラックのように運転席が高い車では、どこまで見えるのか、実際に運転席に乗って体験します。写真の白い紐より下が死角となる目安です。運転席からどのように見えるか、皆でしゃがんだり、寝転がったりして確認しあいます。車の傍で遊んでいるといかに危険か実感していたようです。(写真F)

榎地区協議会では来年度も引き続き交通安全教室を行い、安全で安心なまちづくりに取り組んでいきます。

高齢者防犯講話会 『特殊詐欺対策講話会』

12月10日、牛込警察署生活安全課の協力の下、年3回シリーズの第3弾として特殊詐欺対策講話会を開催しました。一昨年から通算6回目になりますが、リピーターの多い講話会です。10年前に横行していたひったくりは、昨年、牛込警察署管内では3件と激減し、代わりに電話一本で大金を巻き上げる数々の特殊詐欺が次から次と新手の口で襲ってきています。騙しのテクニックが一般人の知識をはるかに超えているのが実状です。

被害報道に『なぜ?どうして引つかかるの?』と他人事だに思っていたことが、誰でも被害者になり得る危険ゾーンで生活しているといつても過言ではありません。あるリピーターの方は『12月は特に注意しないと怖い』からと足を運んで下さいました。

新しい被害ビデオも織り交ぜ、騙される心理、新手の詐欺手法を分かりやすく説明して下さいましたが、新しい詐欺に思わず『こんな手口もあるのか!』と便利な生活ゆえに起こり得る新種の詐欺に驚くばかりでした。

自分は騙されないという自信や慣れ、そして思い込みが被害者になってしまいます。不安や疑わしいと感じたら、気軽に誰かに相談できる環境を作っていきましょう。そして警察やご家族、ご近所とタッグを組んで被害に遭わないようにしましょう!

最後に分科会リーダーが詐欺の窓口となる電話には「居留守電、相手が名乗ったら出る!」と注意を促しました。注意して注意し過ぎることとはない特殊詐欺対策、来年度も年3回シリーズを予定しています。



声掛けにちょっと照れて…さようなら



上着を脱いで講話に力が入ります。

青パト出動!

月に一度、管内4小学校の低学年の下校を見守っています。青色パトロール隊の『気を付けてお帰り』の声掛けにちよつと照れたように『さようなら』と返してくれます。各校年に3回見守りを続けていきます。

早稲田みょうが試験栽培 生長記録

一昨年2月に鶴巻小学校から始まった早稲田みょうがの試験栽培は昨年4月、江戸川小学校、早稲田小学校と植栽地を拡げました。お店で1年中出回っているみょうがですが、本来は7〜8月の夏みょうがと9〜10月の晩生とがあり、早稲田みょうがは晩生です。

試験栽培2年目の鶴巻小学校の植栽地は雑草が生い茂り、やぶ蚊が飛び交う中、10月に入って30数個の収穫がありました。

江戸川小学校は道路に面した一面に10株一列に植えました。晩生なのに8月に6つ収穫、9月下旬に8つ、10月に入ってから8つ、まだ土の中にあるような感触でした。初物はお世話をしていただいたいるみどりサポーターさんに試食していただき、香りが強いと上々の感想でした。地下茎は1株で40〜50センチ伸びているので、今年は児童にも試食できる収穫が期待できそうです。

早稲田小学校は藤棚の下に3列10株ずつ植え、勢いよく茎が伸びて収穫を期待しましたが、収穫時期も過ぎようとしていた10月中旬にようやく顔を出した1〜2個を確認、これで終わりか?と思っていたら11月9日に20個、14日に17個と1年目にしてはなかなかの豊作でした。

戸塚地区協議会と東京富士大学のご協力を得て、所沢キャンパスで植栽している早稲田みょうがの苗を30数株を分けて頂き、ただ今、有志の方が試験栽培中です。



鶴巻小
雑草と勢いよく仲良く共存



江戸川小 初物の収穫です



早稲田小 こんなふうにと土から出るのね。

地域ふれあい分科会

榎ふれあいデー

9月6日 ただじゅんさんと遊ぼう

今回はいつもの早大通りではなく、榎町地域センターで災害時を想定した「何もなくても楽しい遊び」と「新聞を使った遊び」を行いました。「手遊びグーチョキパー」「かたつむり」は、とても楽しく、頭を使って頑張りましたが、なかなか出来ずに大笑い！たださん曰く「出来ない人が笑っている。それはとても幸せで素敵な事。」納得の一言でした。

みんなで手を繋ぎ輪になり「パンツのゴム」「どぶねずみ」にも「チャーキヤ」と歓声があがりました。新聞で帽子や皿まわしも作りました。四苦八苦しながら夢中で回しました。

災害時にこの笑いが大切なのだと実感した日でしたが、その日が来ないことを願い、最後は太鼓の音に乗り、ふれあい手作りのお神輿をみんなで担ぎ、楽しい時間を終えました。



ただじゅんさんと全員集合！

10月4日

木工クラフト



…木工クラフトギャラリー…

秋晴れの下、早大通りで木工細工をしました。小さいお子さんの親子連れが多く、釘を打つ事は止め、のりやテープで貼りあわせました。各自お気に入りの木々を選び、マジックで色を塗ったり、折り紙を貼ったりと工夫がいつぱい。夢のお部屋を作った女の子、想像力あふれる個性豊かな作品、どれも素晴らしい出来栄でした。

11月15日

ハンドベル演奏

毎年恒例の「早稲田ノエルズ」のハンドベル演奏を子ども家庭支援センターで行いました。可愛い小さな子ども達が多数参加し、メンバーに指導していただき、上手にベルを鳴らしていました。



みんなで演奏！天使の羽音

途中から早稲田小学校金管バンド6年生の女子3人が参加、ハンドベル初心者ながら短時間の練習で「ふるさと」を演奏。さすが全国大会出場者です。

最後は山村リーダーのリードのもと全員で「ドレミのうた」の大演奏会。ベルの音は天使の羽、天使と過ごした楽しい一時でした。

榎ふれあいクッキング

7月25日

ころころ作ってみんなでランチ



所長と一緒に昼食会



そう、そうよ、猫の手よ

小学生の食育として、夏休みに子ども料理教室を実施し、1年生から5年生の16名が参加しました。

テーマは「コロコロ」、ミニおにぎりはラップでまーるく、野菜は「猫の手ね」と言いながら切り、つくねはラップにふんわり包み、油揚げの中に卵をぽとりと入れて巾着。小さな手は緊張していました。ポテトサラダもラップに包んでまーるく、ちくわの穴にはきゅうり、トマトを添えて、可愛い「ころころランチ」の出来上がり。

頂く前に、自分で作ったランチと一緒に一人ずつ記念撮影。

自分が作ったお料理に大満足、残さず全部食べました。最後に先生から、自身に満ちた笑顔の写真が貼られた終了証書が一人一人に渡されました。皆大喜びで、お迎えの保護者に自慢気に見せていました。

12月6日

彩り豊かなお正月料理を手作りで

申込み開始3日で定員に達する人気講座、男性2名、80歳以上も2名参加の19名で実施しました。6、7名のグループに分かれ盛りだくさんのメニューを仲間と相談しながら、先生に聞きながら、レシピ通りに調理を開始。

4時間近くかかってきれいに並んだ出来栄に思わず、につこり。疲れも吹き飛びました。新春のお正月料理に華を添えることになるでしょう。

喜久井町から参加したTさん84歳がPCでメニュー写真を作りました。

PCで仕上げました



ただいま格闘中

護国寺から鬼子母神 第15回歴史と文化の まち歩き



今回で15回目を迎えた「歴史と文化のまち歩き」は護国寺と雑司が谷霊園、鬼子母神まで約4・3キロのコースで、名刹と有名人の墓地を巡りました。

最初に訪問した護国寺ではお坊さんが特別に護国寺の由来や歴史及び墓所に眠る有名人について説明しました。一行は重要文化財である本堂に上がり、護国寺が徳川家由来のお寺であることや天井画の意味など興味深い説明を受けながら本堂内を一周しました。特に宣伝はしていないのですが、本堂内も随時見学ができるそうです。

本堂を後にし、墓所へ向かいました。ここには、三条実美、山縣有朋、大隈重信などの多くの有名人の墓がありました。

護国寺を出ると、すぐに雑司が谷霊園に到着しました。ここにも数々の有名人が眠っています。雑司が谷霊園ではマップ片手に迷いながら霊園内を巡っていきます。

永井荷風、小泉八雲、泉鏡花、ジョン万次郎、竹久夢二など多くの有名人の墓があります。近くには東池袋の高層マンションが林立していますが、ここは静けさに包まれています。

雑司が谷霊園を後にし、少し歩くと鬼子母神に到着しました。ちょうど七五三の時期で、境内ではそのお祝い



でいらしたご家族をお見かけしました。最後に全員で記念撮影をし、解散となりました。

参加された多くの方が「近くにあるのに行ったことがなかった」とおっしゃっていました。皆さんも是非足を運んでみてはいかがでしょうか。



●榎地区協議会は住民の皆様の意見を集約し、また行政の方針を検討し、地域の考えを区政に反映していく窓口として、がんばっていきます。

お問合せ・ご応募は 榎地区協議会事務局（榎町特別出張所内）まで

TEL 03-3202-2461 FAX 03-3202-2476

〒162-0042 新宿区早稲田町85番地 榎町特別出張所内 榎地区協議会事務局

<http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/division/261500enoki/index.html>

お待ちしております

公募委員

おります